

## 5 戦災からの復興

昭和20年(1945年)8月15日、ポツダム宣言の受諾により、太平洋戦争が終結しました。

空襲による家屋の焼失、物価高騰、食糧不足など、市民生活は困窮を極めました。

しかし、そのような苦しい中、人々は必死でバラック小屋を建て生活の再建をし、街の復興に向けて立ち上がりました。



昭和天皇がご視察 昭和天皇が千葉市を訪問され、亥鼻山から戦災復興状況を視察されました。奏上者は渡辺良雄市長代理(助役)。(昭和21年〔1946年〕6月7日)

### 復興に向けて



本町通り 亥鼻山から見た市中心街。中央が本町通り及び大和橋。(昭和21年〔1946年〕8月)



吾妻町付近(現在の中央区中央) 千葉銀行本店屋上から見た亥鼻山・県庁方面。(昭和21年〔1946年〕8月)



本千葉町方面(現在の京成千葉中央駅付近) 県教育会館屋上から見た本千葉方面。煙突は旧参松。(昭和21年〔1946年〕8月)



栄町通り 千葉銀行本店屋上から見た栄町通り。通りの正面は国鉄千葉駅。(昭和21年〔1946年〕8月)

## 戦後の市民生活



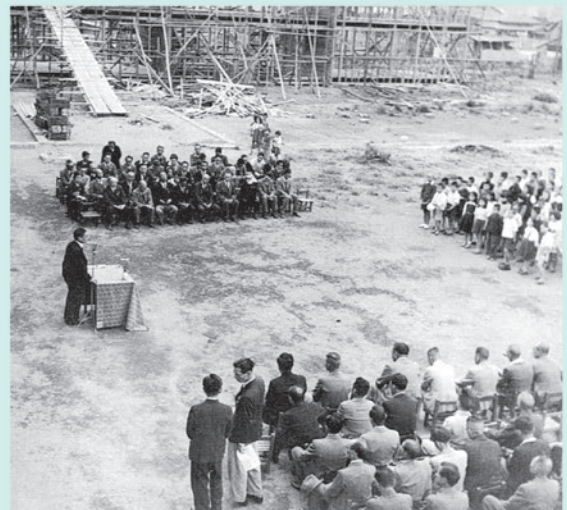
千葉銀座通りのヤミ市 昭和21年(1946年)秋頃のヤミ市の様子。正面が千葉銀行本店です。



国鉄千葉駅前の買い出し部隊 主な生活物資は配給制でしたが、ヤミ市はますます増加していきました。



勤労奉仕 昭和22年(1947年)頃、浜野町付近。近隣の人々が協力しあい、道路工事をを行いました。



本町小の校舎上棟式 昭和23年(1948年)

## 戦後復興事業

終戦後、政府の「戦災復興計画基本方針」に基づき、千葉市は都市計画委員会を中心に、戦災復興院、県などと協議を重ねて復興計画を立案、昭和21年(1946年)6月27日に117万坪(386.8ヘクタール)の事業認可を受けました。この計画では、市の人口規模を15~20万人と想定したほか、千葉市を首都の衛星都市、学園都市、臨海水辺都市、県の政治・経済・文化の中心都市と位置付けました。

この計画により、国鉄千葉駅、京成千葉駅の移転を中心として道路・公園などの整備が行われ、事業は昭和55年(1980年)に完了しました。

### 事業計画図

(「千葉戦災復興誌」より)

施行前



施行後



### ① 国鉄千葉駅



国鉄千葉駅 昭和2年(1927年)に改築された旧千葉駅。(現在の市民会館付近)

### ② 千葉駅前大通り



昭和20年代頃

### ③ 中央公園付近



昭和30年代の旧京成千葉駅跡

### ④ 葭川公園付近



昭和20年代



移転工事中の国鉄千葉駅 昭和38年(1963年)4月28日に開業しました。



JR千葉駅(令和3年(2021年)9月)



昭和40年代



令和2年(2020年)9月



昭和40年代



令和4年(2022年)5月



昭和30年代



令和4年(2022年)5月

# 千葉市と平和啓発のあゆみ

西暦	元号	できごと
1921	大正 10	1月1日 市制施行により千葉市誕生
1931	昭和 6	千葉聯隊区司令部設置（椿森）
1945	昭和 20	千葉空襲（6月10日、7月7日）、 中心市街地の7割が消失
1946	昭和 21	「戦災復興計画」立案、焼野原からの 再建はじまる
1963	昭和 38	国鉄千葉駅が現在地に移転
1970	昭和 45	市庁舎が千葉港に移転、 あわせて市制50年記念式典を挙行
1980	昭和 55	「戦災復興計画」事業完了
1987	昭和 62	千葉空襲写真パネル展開始
1989	平成元	「平和都市」を宣言
1992	平成 4	全国12番目の政令指定都市として スタート
1995	平成 7	千葉空襲及び終戦50周年、 平和都市宣言記念像設置
2005	平成 17	DVD「千葉空襲戦災体験談 『平和の道しるべ』」制作
2009	平成 21	平和首長会議加盟
2011	平成 23	平和啓発パンフレット 「考えよう 平和の大切さ」発行
2015	平成 27	平和アニメ上映・戦災講話会開始
2021	令和 3	千葉市制施行100周年
2022	令和 4	政令指定都市移行30周年



市制施行を祝うアーチ門



市制施行当時の市庁舎



移転工事中の国鉄千葉駅